

患者さんにご家族に笑顔をお届けしてくれたセラピー八犬伝

7月9日(水)、午後2時からJ A H A (日本動物病院福祉協会)の訪問活動



でセンターを訪ねてくれたのは、「南総里見八犬伝」ならぬ8頭のセラピードッグ。初登場のトイプードル・チャチャちゃん(6歳・左上)、希少種のチバタンスパニエル・ベルちゃん(11歳・右上)、元気な2歳のオーストラリアンラブラドゥードゥル・ファンちゃん(左中)、抱き心地満点のミニチュアダックス・サンちゃん(右中)とコムギちゃん(左下)、手作りの浴衣を着こなしたシーズー・ケンタちゃん(5歳・下左から2番目)とマルチーズのナナちゃん(9歳・下左から3番目)、そしてグレートピレニーズのシェリーちゃん(9歳・下右)。それぞれシャンプーして爪も切って、耳のお掃除、歯磨きもして、患者さん



んに笑顔運びにやってきました。



病院訪問が初めてだったチャチャちゃんの飼い主さんは「初めての参加で頭が真っ白になりましたが、患者さんが気持ちよく受け入れてくださり、緊張がとけました。酸素吸入をして動けない患者さんのところに伺ったとき、ご家族が『ワンちゃんが来たわよ』と声をかけられたら、手が少しだけ動



いて瞬きをしてくださり、びっくりしました」と感想を。「こんちわ」「かわいいね」「よくなれていて、お利口さんだね」「あったかい手、ふわふわの手触りですね」と、どのフロアーからもワンちゃんに触れて話しかける患者さんやご家族の声が

響き、おやつに「待て」ができなくて大笑いという場面など、あらためて犬が持つ力の大きさを感じることができました。優しく力強い8頭の犬士と飼い主のみなさん、訪問ありがとうございました。

